

広報広聴会議

日 時 平成 27 年 3 月 10 日 (火) 午後 5 時 15 分 ~

場 所 第 3 委員会室

1 開議

2 案件

(1) 議会だよりについて (広報部会)

(2) 議会報告 & わがまちトークについて (広聴部会)

自治会単位で開催

○初回開催までの流れ

3 月 11 日 (水) 議会運営委員会

開催場所の決定 (会場借上げ)

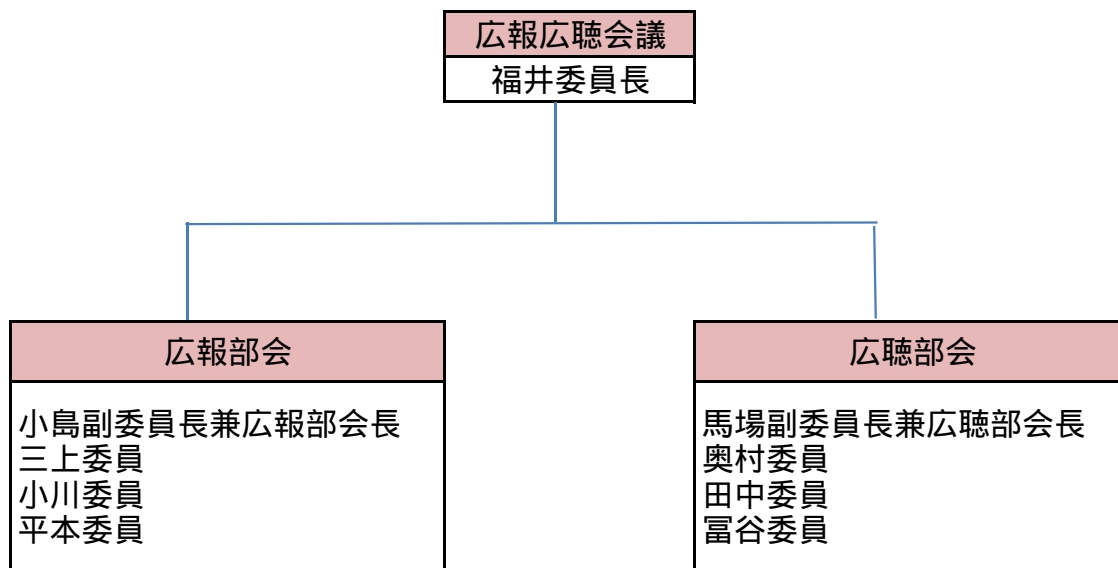
3 月 25 日 (水) 全議員打合せ

5 月 案内チラシ配付

6 月 開催

3 その他

1 広報広聴会議組織図 <平成27年>



2 事務分掌

職名・組織名	事務分掌
広報広聴会議委員長	・ 広報広聴会議の総括
広報広聴会議副委員長 兼部会長	・ 委員長の補佐 ・ 部会の総括
広報部会	・ 議会報の編集に関すること。 ・ その他議会の広報に関すること。
広聴部会	・ 議会報告会等の企画及び運営に関すること。 ・ その他議会の広聴に関すること。

「議会報告&わがまちトーク」スケジュール

時 期	項 目
3月中旬	開催決定<議会運営委員会>
〃	日程と会場の決定<広聴部会>
〃	開催要項・次第の作成<広聴部会>
3月定例会閉会日	役割分担<全議員>
4月	広報(回覧チラシの作成等)<広聴部会>
5月上旬	自治会に回覧依頼<会場責任者>
5月15日	自治会より回覧
5月	当日の持ち物を準備、アンケート作成<広聴部会>
6月	議会報告会&わがまちトーク<全議員>
〃	報告書の作成<記録担当>
〃	意見集約、所管委員会等の振り分け<広聴部会>
6月定例会中	意見を所管委員会で検討
6月下旬	意見をまとめ、公表

かめおか市議会だより概要

(1) 規格・発行等

- ・ A4判、16ページ、とじしろ側パンチ2穴
- ・ 発行時期：各定例会（3・6・9・12月）の翌月末日、臨時号は別途協議
- ・ 発行部数：約31,500部
- ・ 配布：各自治会長を通じて市内全戸配布、市内公共施設等
- ・ 契約：単年度単価契約（臨時号を除く）
- ・ 印刷費：1部13.5円（税込）（1回あたり約425,250円）
- ・ 予算：1,847千円

(2) 編集スケジュール

会議主体	開催時期	掲載内容
広報広聴会議	招集告示日	前月号総括及び今回号の企画、全体構成等の協議など 会議終了後、広報部会で掲載項目・役割分担等協議
広報部会	一般質問 終了日	一般質問の原稿依頼
広報部会		原稿作成（レイアウト・写真等協議）
広報部会	発行月 3日前後	印刷業者同席により、原稿確認 部会終了後、印刷業者へ出稿
広報部会	発行月 10日前後	印刷業者同席により、ゲラ版確認 部会終了後、修正ゲラ版の作成（印刷業者）
広報広聴会議	発行月 15日前後	修正ゲラ版による最終確認（メール・レターケースで送付、 修正があれば事務局に報告）
	月末発行 翌月初日	発行5日前までに校了、月末納品 翌月初日に全戸配布（自治会全戸配付）

(3) 誌面の基本構成

ページ	色	掲載内容
1	カラー	トップ写真、見出し(目次)
2・3		定例会よりクローズアップ、本会議討論、議決結果など
4・5	カラー	特集ページ(予算、決算特別委員会や議会の取り組みなど)
6・7		常任委員会の審査報告、請願審査など
8・9	カラー	一般質問(代表質問)
10・11		一般質問(個人質問)
12・13		一般質問(個人質問)
14		議会の活動報告、議会日誌、次定例会日程
15		議会報告会 広聴部会作成
16	カラー	議会報告会の案内、市民の声、編集後記など

H27 議会報告&わがまちトーク 開催場所(案)

内容	場所		
H27.3定例会	ほんめ町ふれあいセンター	畑野町自治会	保津町自治会
	市民ホール(西部)	千代川町自治会館	東つつじヶ丘ふれあいセンター
H27.6定例会	総合福祉センター(中部)	大井生涯学習センター	千歳町自治会館
	東別院町ふれあいセンター	吉川公民館	宮前町自治会館
H27.9定例会	古世総合センター(東部)	東本梅町ふれあいセンター	大葉台2丁目集会所
	曾我部町公民館	旭コミュニティセンター	
H27.12定例会	河原林生涯学習センター	西別院生涯学習センター	東部文化センター
	蕨田野生涯学習センター	西つつじヶ丘ふれあいセンター	馬路生涯学習センター

議会報告&わがまちトーク開催要項

(平成27年3月定例会)

趣 旨	参加者から市政等に対する意見を聴くとともに、平成27年3月定例会の報告を行う機会とする。
開催日時	平成27年6月1日(月)～5日(金)で設定 午後8時～
開催場所(案)	別紙のとおり 会場が借りられない場合は変更する
参加対象	開催地区住民を中心とした亀岡市民等
案内方法	「お知らせ版」「京都新聞」「京都丹波新聞」他 開催地区内へチラシ回覧(自治会に協力依頼) *「議会だより」には開催予告記事を掲載
議員の配置	<ul style="list-style-type: none">・全議員が2会場に出席する・常任委員会委員・会派が偏らないように配置する・居住地域は考慮しない
役割分担	<ul style="list-style-type: none">・各会場担当議員で事前に打ち合わせを行い、そのもとで協力し合 って準備から片付けまでを行う
次 第	別紙のとおり
その他	<ul style="list-style-type: none">・会場の駐車場確保のため、議員は出来る限り、市役所から乗り合 わせて移動する・資機材の運搬、会場設営等全て各会場担当議員のみで行う・「出席議員紹介」は、氏名、所属常任委員会名のみとする・議員の個人の意見は基本言わない

議会報告&わがまちトーク(会場)

開 催 次 第

司 会 ()

1 開 会 1分

1 開会挨拶 () 3分

1 出席議員紹介 2分

1 議会報告

予算特別委員会	()	} 12分
総務文教常任委員会	()	
環境厚生常任委員会	()	
産業建設常任委員会	()	

1 意見交換(わがまちトーク) 40分

1 閉会挨拶 () 2分

1 閉 会

* 受付担当 ()

* 写真担当 ()

* 要約筆記担当 ()

班編成(案)

委員会	1	2	3
	西 口 純 生	齊 藤 一 義	福 井 英 昭
			竹 田 幸 生
総文	三 上 泉	奥 野 正 三	小 川 克 己
	山 本 由 美 子	堤 松 男	木 曾 利 廣
	石 野 善 司		田 中 豊
環厚	酒 井 安 紀 子	小 松 康 之	富 谷 加 都 子
	奥 村 泰 幸	平 本 英 久	明 田 昭
		馬 場 隆	
産建	菱 田 光 紀	並 河 愛 子	小 島 義 秀
	湊 泰 孝	藤 本 弘	

青字は予算特別委員

基本理念 「市民が身近に感じる議会」

亀岡市議会は、今日まで議会改革を進めており、全国レベルの評価を受けるまでになってきた。しかしながら、市議会議員選挙の投票率は下降傾向を示し、市民の議会への関心は低いと言わざるをえない。

今後、本市議会が市民により関心をもってもらい、市民とともに歩む議会となるために重要なことは、何より、身近に感じてもらえる議会となることである。

知らないうちに市民生活に影響のあることやまちづくりが決まっている、市民の声が届いていない、そのようなことでは、市民が議회를身近に感じられないのは言うまでもない。

今後本市議会では、議会の情報をより詳しく、早く知らせることや、市民の意見を聴く機会を持つことを積極的に行い、市民に歩み寄り、寄り添っていく取組みを進めなければならない。

それらを主体的に取り組む広報広聴会議の役割は、亀岡市議会の目指す、市民とともに歩む議会の原動力となるものである。

よって、広報広聴会議では、「市民が身近に感じる議会」を基本理念とし、この会議の果たす役割の重要性を共通認識するものである。